

令和元年9月9日

データ集計・解析者（小芝嵩広 氏）のコメント

★事業所形態(資料：p2-p19)★

Q1-1 について

「優先度」の認識については概ね同じ傾向にありますが、「達成度」については医療機関が他の事業所に比べてポイントが低い傾向にあるように思われます。

Q1-2 について

③「安全パトロール」については、医療機関のポイントが若干低いですが、こちらについても概ね同じ傾向でした。

Q2-1 及び Q2-2 について

事業所により、想定するトップやリーダーに違いがあるかを確認しましたが、規則的な傾向は特に表れていないように思います。

2-3 及び Q2-4 について

本設問は、事業所ごとに想定したトップやリーダーの選択肢を設けているため、事業所でクロスしてデータを整理すると、グラフ内で一致しない結果が必然的に表れます。

前回の解析では見えていなかった事業所ごとの回答の傾向が視覚化されたということです。事業所ごとにグラフの形状は異なりますが、本設問の選択肢の①から⑫までを大きく4つにグループ分けすると、

- 事業所長レベル：①～⑥
- 部門の長レベル：⑦～⑩
- 放射線取扱主任者：⑪
- あなたの上司⑫

に分けて見ることができます。

このように分けて考えると、事業所長レベルと「かかわりを望む程度」は、他の選択肢である⑦以降に比べて相対的に低い傾向にあります。

設問 Q2-1 及び Q2-2 のグラフを確認すると、この⑦以降の選択肢は、アンケート回答者が「トップ」ではなく「リーダー」を想定していると考えられますので、放射線安全活動を促す上で、優先的に考えるべきことは、トップとの繋がりよりもリーダーとの繋がりであるのかもしれませんが。

Q2-4 をみると、実際にはあまりうまく関わっていないように見えますが、⑦以降の選択肢は概ね関わることができているとポジティブに捉えることもできます。

ただし、医療機関については、他の事業所と比べても⑩「放射線取扱主任者」を除いて、低いポイントが多く出ているので、そこは気になります。

Q3-1 について

概ね同じ傾向にあるので、特に触れる点はありませんが、「効果の程度」の⑦「作業者の意識」については後から追加された選択肢であるため、データ不足による可能性が高いと考えられます。各事業所ともに「効果の程度」に対して、「実現可能性」は難しいと考えているようですが、その中で⑦「作業意識」の実現可能性は若干高いポイントが出ているので、改善の余地があるのかもしれない。

Q3-2、Q4-1 及び Q4-2 について

特筆すべき点はありません。事業所ごとに認識が大きく異なる箇所は特になないように考えられます。

★事業所規模(資料：p20-p30)★

Q1-1、 Q1-2 、 Q2-1 及び Q2-2 について特筆すべき点はありません。

2-3 及び Q2-4 について

こちらについても、事業所形態の結果と同様の傾向が見て取れますが、Q2-4 に関しては規模が小さい方が実際のかかわりの程度のポイントが低いことが意外でした。

私のイメージでは、組織の規模が小さいほど関わるのが容易だと考えていたからです。この結果からのみでは分かり兼ねますが、組織の規模が小さいと関わりが容易だからこそ厳しく点数がつけられているのかもしれない。

Q3-1、Q3-2、Q4-1 について

特筆すべき点はありません。

Q4-2 について

特筆すべきはありますが、この設問の結果についても Q2-3 及び Q2-4 と同様に個人的には意外でした。組織の規模が小さい方が、達成度のポイントが高く出ると思ったからです。

★年代(資料：p31-)★

Q1-1、 Q1-2 について

特筆すべき点はありません。

Q2-1 について

60代が想定するトップは、「事業所長」が60%を超えており、他では見られない結果でした。

Q2-2、Q2-3、Q2-4 及び Q3-1 について

特筆すべき点はありません。結果の見方は、基本的に事業所形態で上述した内容と同様になります。

Q3-2 について

30代については、重要度のポイントに対して、達成度のポイントも高く出ている結果となりました。

Q4-1 及び Q4-2 について

特筆すべきはありません。

以上になります。

前回の会合までは、

優先度や達成度等を1つのグラフにして整理していましたが、今回はそのような設問間ではなく、クロスした結果が設問ごとに違いとして現れるのかに視点を置いているため、グラフを分けて整理しています。

(全て1つにまとめてしまうと見えづらくなるのも理由です)

事業所形態のセクションで、民間および病院の主任者クロスの結果がありますが、現段階では、考察することが難しいです。全てデータを整理してから考察することになると思いますが、同じ事業所形態でも、主任者と主任者以外では、若干回答の傾向が異なる部分があるかもしれません。

以前もお伝えはしておりますが、現在の全回答データは217件(不完全回答含む)です。

例えば、データ数がそれぞれ均等である場合、事業所形態でデータを整理すると、今回は、民間、医療、教育、研究の4つなので、50前後のデータに分かれ、そこを更に、主任者・主任者以外でクロスすると、さらに25前後のデータに分かれます。本アンケートは後から追加された設問もありますので、データ数が20をきってしまうものもいくつかあります。その点をご了承くださいますようお願い申し上げます。

～口頭訂正のお願い～

Q2-3 及び Q2-4

選択肢⑬「その他」の削除

Q3-1

選択肢⑦、⑧、⑨の「前回から追加」→「前々回(第2回会合以降)から追加」に変更
選択肢⑩「その他」の削除

Q3-2

選択肢④、⑤の「前回から」→「前々回から」に変更